

河野健二先生退職記念事業趣意書

拝啓

皆様方におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻教授 河野健二先生におかれましては、本年三月末日をもって退職されることになりました。

先生は、京都大学工学部助手として奉職されました後、昭和五十五年に講師として鹿児島大学工学部海洋土木開発工学科（現在の海洋土木工学科）にご着任されました。その後昭和五十八年には助教教授に昇任、平成六年には教授に昇任され、幅広い見識と指導力を持って教育・研究活動に取り組みられました。平成元年には、米国の南カリフォルニア大学において在外研究員として研鑽を積まれ、また学内では、平成二十一年から二年間、工学部副学部長の要職にも従事されておられます。

この間、先生はご専門とされる構造工学・耐震工学・海洋構造工学に関連して、学部・大学院で構造力学、構造解析学、耐震工学、海洋土木設計学、海洋建設工学実験Ⅱ、構造物力学特論等、多くの講義を教授され、幾多の人材を育成されました。

研究の面においては、動的相互作用の影響を考慮した構造物―地盤系の耐震性能評価、免震支承を有する橋梁構造物の耐震性能評価、海洋構造物の動的安全性評価、不確定性の影響を考慮した構造物の信頼性評価など、耐震工学や海洋構造工学などの分野において幅広く研究を重ねられ、これまで多くの論文や著書などにその成果を記しておられます。また、主査として十一名の博士学位論文の指導を行い、これらの分野における研究の発展ならびに後進の研究者の育成に尽力なさっておられます。

また、教育研究にご尽力される傍ら、土木学会構造工学委員会浮体橋小委員会委員、鹿児島県橋梁長寿命化修繕計画検討委員会委員等多岐にわたる学外の委員を歴任され、地域社会へも大きく貢献されてこられました。

このように、先生は、大学や学会における教育研究活動や、広く社会における土木事業分野を中心とした活動を、約四十年の長きに亘り、現在まで休みなく続けて来られたところであります。

このたび、先生のご退職にあたり、長年の先生のご苦勞とご努力、またそのご功績とご貢献に対し、心から敬意と謝意を表すとともに、これからのなお一層のご活躍を祈念いたし、私も有志が相はかりまして記念事業を計画いたしました。

つきましては、なにとぞこの趣旨にご賛同いただき、ご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成二十四年三月吉日

河野健二先生退職記念事業会
発起人代表 中野 克彦（昭和五十六年卒）

各位殿

記

記念事業

一、河野健二先生退職記念講演会

演題 『鹿児島大学での三十二年間を振り返って』

日時 平成二十四年五月十九日（土） 午後五時三十分から

場所 「ジェイドガーデンパレス」

電話 ○九九―二五七―二二二一

二、河野健二先生退職記念祝賀会

日時 平成二十四年五月十九日（土） 午後六時三十分から

会場 「ジェイドガーデンパレス」

会費 六千円

なお、記念講演会終了後、参会者の皆様方との記念撮影を予定しています。合わせてご参加の程お願いします。

三、記念品贈呈

贈金 金額一口（二千円）以上

記念品については、事務局に御一任ください。

四、申し込み方法

祝賀会及び記念品の参加につきましては、同封いたしました振り込み用紙に、祝賀会会費及び記念品贈金の内容を記載して送金をお願いします。振り込みをもって、申し込みに換えさせていただきます。

（締め切り日）平成二十四年四月末日

（振り込み先）郵便振替口座「〇一七八〇―四―一四九六二八」

「河野健二先生退職記念事業会」（同封の郵便振替用紙をご利用ください）

○連絡先

鹿児島大学工学部海洋土木工学科建設システム工学講座 木村 至伸

〒八九〇―〇〇六五 鹿児島市郡元一―二二一―四〇

電話〇九九―二八五―八四六九 (y-kimura@oce.kagoshima-u.ac.jp)

記念事業事務局 北野 浩志、木村 至伸、栗脇 真、高畦 博

中馬 礼士郎、土岐 達郎、中野 克彦

発起人氏名（敬称略、五十音順）

愛甲 頼和	浅野 敏之	安達 貴浩	有元 一宏	安藤 崇	石澤 秀文
出雲 理恵	岩永 昇二	大田 英司	大宅 克幸	奥平洋一郎	柿沼 太郎
茅島浩一郎	神 智幸	北村 良介	木村 至伸	草道 香成	栗脇 真
齋田 倫範	島 佳奈子	高畦 博	高橋 克也	竹之内 徹	武若 耕司
田平 正文	玉江章一郎	中馬礼士郎	鎮守 俊行	土岐 達郎	富山 貴之
内藤 浩一	中野 克彦	野田 直人	萩 亮	古別府隆治	堀之内 毅
前野 琢也	三隅 浩二	山口 明伸	山城 徹	山本健太郎	渡邊 将司